

## 令和5年度本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等

### 課題

昨今の少子化や核家族化、雇用環境の変化によるもののほか、本市においては、東日本大震災の影響もあり、地域における地縁的なつながりが希薄化し、子どもたちを「地域で育てる」という意識が低下しています。

このため、学校の中で行われる教育に比重が傾き、教員等の負担が大きくなっているのが現状です。（学校運営上の課題）

これらの現状の解決につながる取り組みとして「コミュニティ・スクール」導入を、本事業の重点事業と位置付けています。

コミュニティ・スクールの導入により、学校と地域との連携・協力体制が強化され、地域とともに学校運営を行うことにより、学校の業務の一部を地域と協力しながら実施するなど、教員の業務改善を図り、働き方改革が推進されると考えています。（教職員の時間外勤務の是正）

しかし、コミュニティ・スクールは、令和4年度末時点で、市立小・中・高等学校、全50校のうち、19校にしか導入されていないのが現状です。

### 課題解決のために本事業で取り組むこと

- ・コミュニティ・スクール導入に向け、未実施地域における研修の場を設けます。
- ・リーフレットの作成、推進フォーラムの実施を通じて、コミュニティ・スクールの理解を深めるとともに市内全域に周知を図ります。
- ・石巻市コミュニティ・スクール検討推進委員会を活性化し、コミュニティ・スクールの拡充、充実を図ります。

### 本事業で達成する目標（アウトカム）

- ・学校、地域双方の視点からの評価に基づく働き方改革が推進され、教職員の業務負担を軽減します。
- ・学校運営協議会において、多くの関係者による熟議の場をとおして、学校と地域の協働による取り組みを進めるための目的・目標の設定や効果的な手段についての協議を行い、適正な教職員の負担感を軽減します。

### 目標の達成度を図る指標

学校運営協議会による学校評価実施数

現状の数値（令和4年度末実績値）	目標の数値（令和5年度目標値）
19校	32校